

第70回日本小児保健協会学術集会会頭挨拶

この度、第70回日本小児保健協会学術集会を令和5年6月16日(金)～6月18日(日)の3日間にわたり、神奈川県川崎市にあります川崎市コンベンションホールにて開催することになりました。新型コロナウイルス感染症に留意しながらではありますが、発表はすべて現地開催にて執り行い、加えて特別講演や教育講演、シンポジウムはオンデマンドにて配信いたします。ポスター発表はホームページから参加するWeb形式を取り入れ、質疑応答によるやり取りも可能な体制を取りました。本学術集会では、基調講演、会頭講演、特別講演2つ、教育講演14、シンポジウム7つ、セミナー2つが予定されています。一般演題も口演とポスターを合わせて155題の発表があります。

また、4年ぶりに懇親会も開催いたします。ぜひとも奮ってご参加いただき、個人的なつながりの維持発展にお役立ていただくことを願っています。

令和5年度4月に子ども家庭庁が設立されました。成育基本法の理念を具現化する総本山として、子どもと家族の安心と安全を見守る行政の要として、その活躍を大いに期待したいと思います。

子ども家庭庁の背景にある成育基本法を見ますと、小児医療と小児保健の近接化が一つのキーワードになると感じています。日常的な小児医療の中にますます小児保健的な内容が増えてくるでしょうし、小児保健を担当する側も、より一層医療のことを知って業務にあたる必要性が高まると思われます。双方の情報発信と学術的な研鑽の場として、本学術集会を大いに活用していただけることを心より願っています。

最後になりましたが、本学術集会開催にあたりご尽力、ご協力いただきました皆様、団体・企業様に厚く御礼を申し上げますとともに、皆様のますますのご健勝をお祈り申し上げます。

第70回日本小児保健協会学術集会

会 頭 **小枝 達也**

(国立成育研究センター副院長 ころの診療部統括部長
公益社団法人日本小児保健協会 会長)